

公開保育を参観する際の視点

岡山大学教育学部附属幼稚園

研究会当日は、以下に示している視点で保育参観をしていただきます。**(※参加される分科会の学年の視点で参観してください)** 午後の協議会では、参観していただいたことを基に、教師の「環境づくり」や幼児の姿について協議を深めたいと考えています。

3歳児の参観の視点

【教師の「環境づくり」】

- ・幼児一人一人の仕草や表情を感じとったり、言葉に耳を傾けたりしながら幼児の思いを十分に受け止める。
- ・友達の様子を見て楽しむ姿を肯定的に見守り、幼児が何に興味をもっているのか、何をしようとしているのかを捉え、一人一人に応じた働き掛けをする。

【9、10月の育みたい幼児の姿】

- ・気の合う友達と一緒に好きな遊びをする。
- ・遊びの中で思ったことや感じたことを、自分の言葉で表したり友達に話したりする。
- ・自分で頑張ってきたことを喜び、またしてみようとする。

4歳児の参観の視点

【教師の「環境づくり」】

- ・遊びに必要なもののつくり方や遊び方について工夫しているところを認めたり、思いや考えの面白さに共感したりする。
- ・一人一人の幼児の思いが実現できるように、必要に応じて、一緒に考えたり、提案したりする。
- ・同じ場にいる幼児の様子を言葉にすることで、友達の言動に関心を持ち、思いや考えを聞こうとすることができるようになる。

【9、10月の育みたい幼児の姿】

- ・自分なりに考えたことを試したり工夫したりしながら、繰り返し取り組む。
- ・思ったことや考えたことを、友達に言葉で伝えようとする。
- ・友達と遊ぶ中で、友達にもいろいろな思いや考えがあることを知り、聞こうとする。
- ・友達と過ごしたり遊んだりする中で、いざこざが起きたときにはどうすればよいか、教師と共に自分たちで考えようとする。

5歳児の参観の視点

【教師の「環境づくり」】

- ・友達と考えを出し合うことができる機会をつくる。
- ・自分のしていることや考えて試したことを振り返る時間を保障したり、振り返るきっかけになる声掛けをしたりする。
- ・必要に応じて幼児の考えを確認したり整理したりしながら、他児に共有する。

【9、10月の育みたい幼児の姿】

- ・考えたことを友達に伝えようとする。
- ・友達の考えを聞き、自分の考えと比べたり、遊びに取り入れたりしようとする。
- ・同じ場で遊ぶ友達と、役割を分担したり力を合わせたりする。
- ・めあてに向かって試したり工夫したりしながら、最後まで取り組もうとする。